

第101期 報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで



トップインタビュー

「進化」と「成長」をミッションに掲げ、
さらなるグッド・カンパニーをめざします。

伊藤忠食品株式会社

証券コード：2692

「進化」と「成長」をミッションに掲げ、 さらなるグッド・カンパニーをめざします。

株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループ事業への厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

2018年度(第101期:2018年4月1日から2019年3月31日まで)の事業概況をご報告し、今後の見通しについてご説明させていただきます。

2019年6月

代表取締役社長
社長執行役員

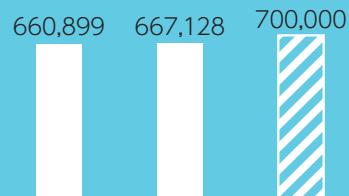
岡本均

企業理念

常に時代の変化と要請を先取りし、
健康で豊かな食生活創りを通じて
消費者と社会に貢献します

連結決算ハイライト (単位:百万円)

売上高
667,128百万円
(前期比0.9%増)



2017年度 (第100期) 2018年度 (第101期) 2019年度 (第102期(予想))

2018年度(第101期)の 取り組みと経営成績

食品流通業界では、消費者の生活防衛・節約志向は依然として強く、また、人手不足とこれに伴う労働コストの上昇や物流費の高騰、加えて小売業における業種・業態の垣根を越えた競争の激化から、引き続き厳しい事業環境が続きました。さらにAIやIoTの活用、キャッシュレス化の進展などの技術革新や、市場の環境変化により流通業界の再編が加速するなど、大きな変革時期を迎えていると考えております。

このような経営環境のなか、当社グループは、『変化への対応』と『基盤の強化』を当期のミッションに掲げ、卸の基本機能を高め、並行して業務改革のさらなる推進

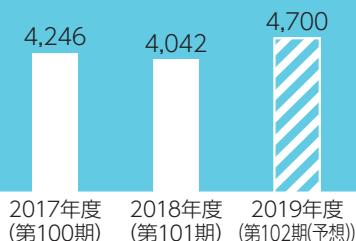
によりローコストオペレーションを追求してまいりました。重点施策においては、優良得意先との取り組み強化を進めるとともに、EC関連や百貨店のグロサリー売り場を運営する子会社(株)アイ・エム・シーの事業拡大に取り組みました。また、合併会社ワイ&アイホールディングス(同)を設立し、同社を通じてコンフェックスホールディングス(株)への資本参加を実施いたしました。

これらの取り組みが組織小売業との取引拡大や販路開拓に繋がり、売上高は6,671億28百万円(前期比0.9%増)となりました。商品分類別では、従来からの主要取引先やドラッグストア、ECなど成長業態との取り組み強化により「嗜好・飲料」「調味料・缶詰」を中心に増加いたしました。利益面では、増収により売上総利益が増加したものの、物流費の増加などにより販売費及び一般

▶ 詳細はP7-8をご覧ください。

営業利益

4,042百万円
(前期比4.8%減)



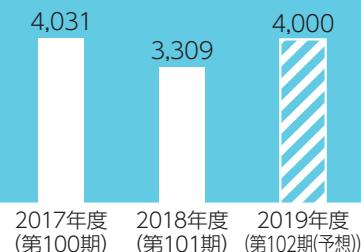
経常利益

4,943百万円
(前期比1.8%減)



親会社株主に帰属する当期純利益

3,309百万円
(前期比17.9%減)



管理費が前期比で9億47百万円増加したため、営業利益が40億42百万円（同4.8%減）と前期を下回り、経常利益は49億43百万円（同1.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は33億9百万円（同17.9%減）となりました。なお同純利益の減少は、前期に一過性の特別利益を計上した反動によるもので、実質的には前期並みの水準であります。

重点戦略の進捗状況

コンフェックスグループとの取り組みについては、連結決算への貢献はもちろんのこと、両社の持つ物流拠点の共同利用によるコスト改善、両社販路の相互活用、商品の共同開発などのシナジーにより、収益増をめざします。

EC分野では、新たな取り組みとしてオンラインBtoBマーケットプレイス「Foodlive」を2018年8月に立ち上げました。「Foodlive」はECチャンネルで取引を始めた、もしくは拡大したいサプライヤー企業と、商品を購入したいバイヤー企業を結ぶプラットフォームで、着実に会員数を増やしております。また、業界全体の課題である食品ロスの解決にも、本サービスを活用していく予定です。**特集① (P5)**

商品開発では、当社オリジナルブランド「からだスイッチ」シリーズの開発・販売を推進しております。同シリーズは、「食を通じてからだを変える、未来が変わる」をテーマに、健康に特化した商品全10品を展開しております。

なかでも2018年8月に発売した「おとなのミルク習慣プレミアム」は、不足しがちなたんぱく質を習慣的に摂取できる大人向け粉ミルクとしてご好評をいただき、順調に配荷店舗を増やしております。

2019年度（第102期）のミッションと見通し

2019年度（第102期）は、「『進化』と『成長』」をミッションに掲げ、中核卸事業のさらなる拡大・強化に努めるとともに、新たな事業領域の開拓に一層注力し、次世代の成長エンジンの獲得に向けたベンチャー投資なども検討していく考えです。

主な取り組みとしては、①「組織を大括りし、より筋肉質な体制へ再編」②「事業領域の拡大および、新規ビジネスへの積極投資」③「サプライチェーンの物流効率化へ向けた取り組み（AI自動発注の導入など）」④「菓子卸 コンフェックスグループとの取り組み推進」の4つを掲げ、持続的成長への基盤を確立してまいります。

以上の取り組みを踏まえ、次期は売上高7,000億円（当期比4.9%増）、営業利益47億円（同16.3%増）、経常利益58億円（同17.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益40億円（同20.9%増）を見込んでおります。

なお当期の期末配当は、予定通り1株当たり37円50銭とさせていただきます。これにより、年間配当額は同額の間配当と合わせて75円となりました。次期の配

当についても、1株当たり75円（中間・期末とも37円50銭）を予定しております。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

経営ビジョン

『価値』を追求し、『信頼』される
グッド・カンパニーへ

2019年度（第102期）ミッション

『進化』と『成長』

2019年度（第102期）連結業績予想

売上高	7,000億円
営業利益	47億円
経常利益	58億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	40億円

2018年度（第101期）News Digest

2018年

6月

- 当社展示会「FOOD WAVE2018 TOKYO」を開催



7月

- 当社展示会「FOOD WAVE2018 OSAKA」を開催

8月

- 体験(コト)と関連商品(モノ)を組み合わせた「コト・モノ」ギフトをリンベルカタログ内で販売開始（リンベルとの業務提携に基づいた共同企画）
- からだスイッチシリーズ「おとなのミルク習慣プレミアム」販売開始



9月

- 「商業高校フードグランプリ2018」KITTE丸の内で初の単独開催



12月

- 「格之進ギフトカード」取り扱い開始
- 「ワイ&アイホールディングス合同会社」設立

2019年

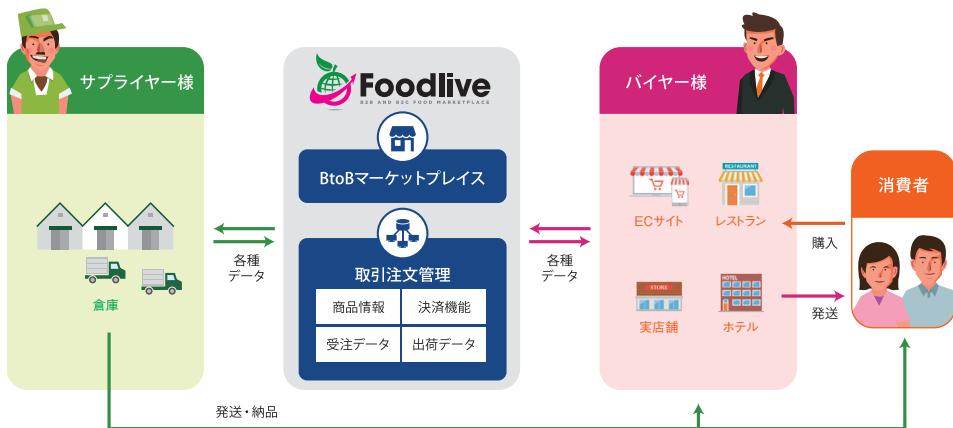
1月

- 当社展示会「FOOD WAVE2019 NAGOYA」を開催
- 地域産品プロジェクト・石川県と取り組むブラッシュアップ支援で、地域産品を活性化

食品に特化したBtoB向け ECマーケットプレイス「Foodlive」

「Foodlive」は、“売りたい(サプライヤー様)”と“買いたい(バイヤー様)”を結ぶ、ECのプラットフォームサービスです。決済や流通の機能で、多様な取引を可能にし、誰もが簡単・スピーディーに商品の販売、仕入を行うことができます。2018年8月よりサービスオープンし、着実に会員を増やしています。

Foodliveのしくみ



Foodliveの強み

BtoBやBtoBtoCなど
多様な取引に対応

スピーディー&
正確なオンライン取引

取引先獲得の機会増

■ 食品ロス削減に向けた取り組み



Foodlive食品ロス編 PR動画

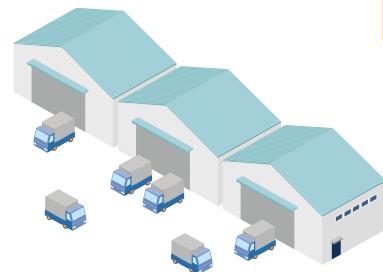
食品ロスの削減は、現代社会が抱えている深刻な社会課題の一つです。2019年5月24日には食品ロス削減推進法が成立し、食品領域において最重要課題となっております。当社では「Foodlive」を活用することで、この課題解決に取り組めます。「Foodlive」が持つBtoBのマッチング機能を活かし、“あなたの「もったいない」が、誰かの「ほしい」につながる”をテーマに、食品ロス削減をめざす取り組みを始めました。公式SNS等でPR動画を公開し、会員増と認知度向上を更に進めてまいります。

より詳細は情報は、こちらをご覧ください。



物流センターにおける、ドライバー待機 時間短縮に向けた取り組みを開始

当社は、日本加工食品卸協会が開発した「トラック入荷受付・予約システム」を業界でもいち早くトライアル導入し、食品流通の物流において従来から課題となっていたトラックの順番待ちによる渋滞解消や、ドライバー待機時間短縮に向けた取り組みを開始しました。



トラック入荷受付・予約システムとは？

入構時刻の事前予約や従来手書きで管理していた受付簿の電子化、車両の作業実績収集などの機能を備えています。本システムを使用することにより、待機時間の削減や入退構／作業／待機時間の把握を可能にし、作業の効率化をめざします。

従来の課題

トラックの順番待ちによる渋滞・待ち時間が発生

トラック待ちで
納品が
遅れるかも？

事前に荷卸しする
順番が分からない？

早く並んで
早く作業を
終わらせたい



物流センター

システム導入後

入構時刻の事前予約により待機時間を削減



インターネット



予約確認

予約情報から
作業要員決定



物流センター

■ 千葉県・船橋物流センターにトライアル導入

当社は、千葉県の船橋物流センターにて3月からシステムの運用を開始し、複数ある機能のうち受付簿の電子化から導入しています。今後は入構時刻の事前予約など、その他の機能も順次検証し導入をめざします。また、船橋センターでの検証結果を踏まえ、当社の各物流センターでも段階的にシステムを取り入れていく予定です。



連結決算の概要

□ 連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)

売上高

667,128 百万円

(前期比0.9%増)

組織小売業との取引拡大や販路開拓などにより、前期比で62億28百万円の増加となりました。



営業利益

4,042 百万円

(前期比4.8%減)

取引拡大により売上総利益は増加したものの、物流費など販売費及び一般管理費が増加したことにより、前期比で2億4百万円の減少となりました。

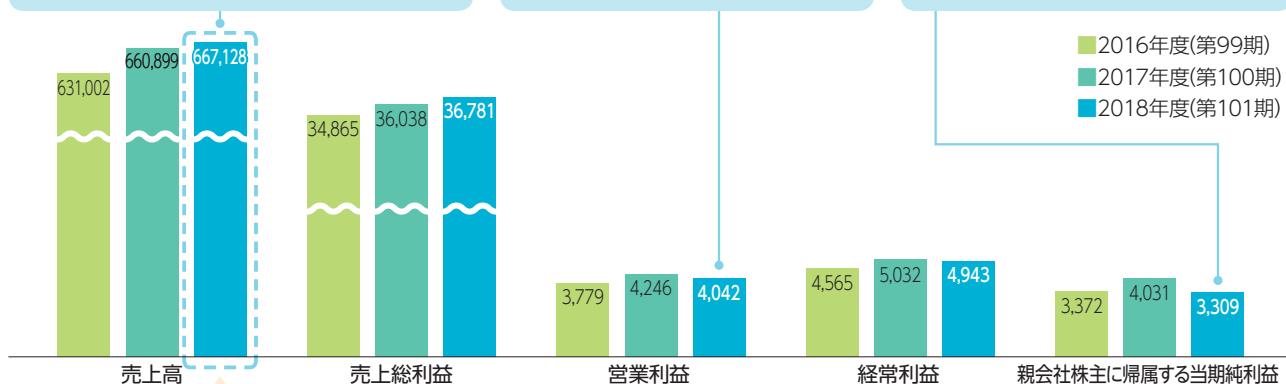


親会社株主に帰属する当期純利益

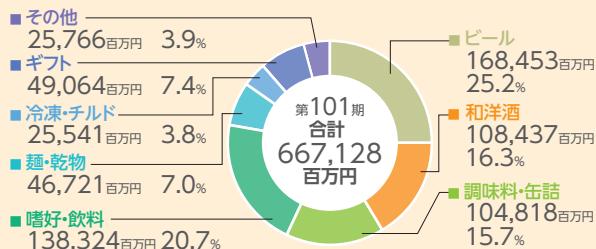
3,309 百万円

(前期比17.9%減)

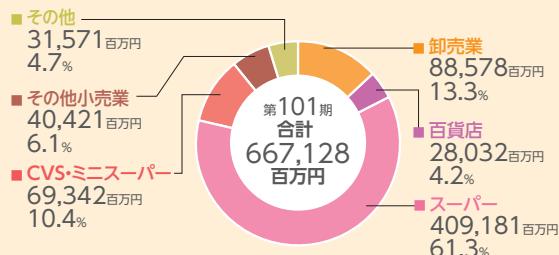
前期に一過性の特別利益を計上したことから、前期比で7億21百万円の減少となりました。



商品分類別 売上高構成比

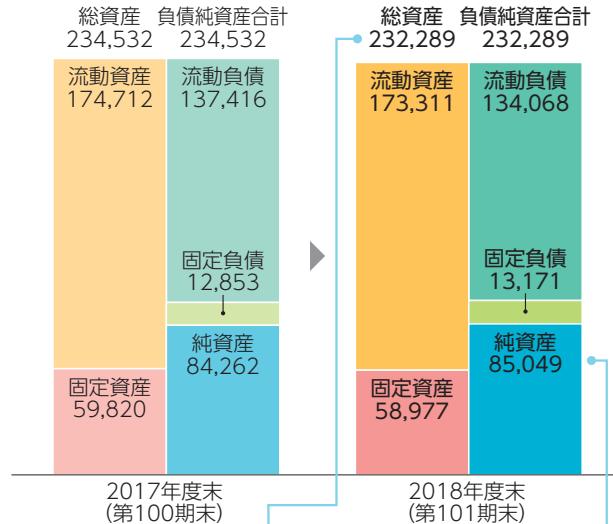


業態別 売上高構成比



(注)「ビール」には、発泡酒、ビール風アルコール飲料(第3のビール)の売上高を含んでおります。

□ 資産、負債及び純資産の状況 (単位:百万円)



総資産

232,289

百万円

総資産は、2,322億89百万円となり、前期末に比べ22億42百万円の減少となりました。これは、売上債権が15億37百万円減少したことなどによるものであります。

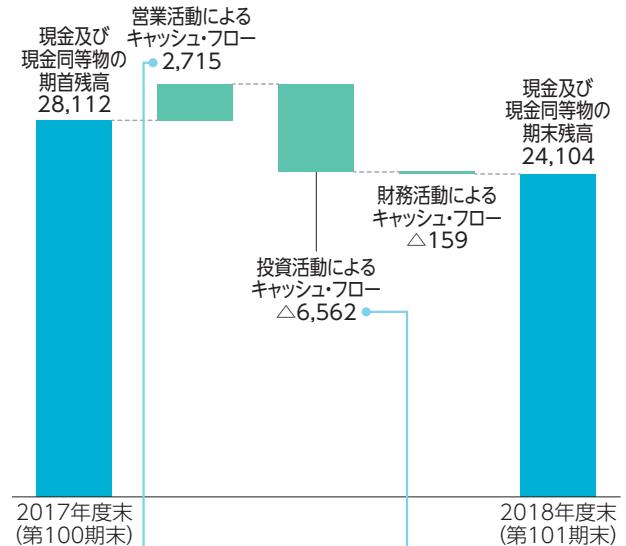
純資産

85,049

百万円

純資産は、850億49百万円となり、前期末に比べ7億86百万円の増加となりました。これは、株価下落によりその他有価証券評価差額金が減少したものの、利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

□ 連結キャッシュ・フローの状況 (単位:百万円)



営業活動による キャッシュ・フロー

2,715

百万円の収入

営業活動によるキャッシュ・フローは27億15百万円の収入(前期より78億61百万円収入減少)となりました。主な要因は税金等調整前当期純利益などによるものであります。

投資活動による キャッシュ・フロー

6,562

百万円の支出

投資活動によるキャッシュ・フローは65億62百万円の支出(前期より66億62百万円支出増加)となりました。主な要因は資金の預け入れ並びに子会社による関係会社株式の取得などによるものであります。

商号 伊藤忠食品株式会社
創業年月日 1886年2月11日(明治19年2月11日)
設立年月日 1918年11月29日(大正7年11月29日)
資本金 4,923,464,500円
従業員数 連結1,145名 個別809名
事業内容 酒類・食品の卸売およびそれに伴う商品の保管、運送ならびに各種商品の情報提供、商品流通に関するマーチャンダイジング等を主とした事業活動を展開。
本店所在地 大阪府中央区城見2-2-22
大阪本社
 〒540-8522 大阪府中央区城見2-2-22
 電話(06)6947-9811
東京本社
 〒107-8450 東京都港区元赤坂1-2-7
 電話(03)5411-8511

役員 (2019年6月20日現在)
 代表取締役社長・社長執行役員 **岡本 均** 常勤監査役** **姫野 彰**
 取締役・専務執行役員 **大釜 賢一** 監査役(非常勤)** **増岡 研介**
 取締役・常務執行役員 **川口 浩一** 監査役(非常勤) **萩原 武**
 取締役・常務執行役員 **河原 光男** 監査役(非常勤) **太田 有哉**
 取締役・執行役員 **大崎 剛** 常務執行役員 **酒井 健雄**
 取締役・執行役員 **中島 聡** 常務執行役員 **角田 憲治**
 取締役(非常勤)* **橋本 健** 執行役員 **田村 恭紹**
 取締役(非常勤)* **宮坂 泰行** 執行役員 **魚住 直之**
 取締役(非常勤)* **奥田 高子** 執行役員 **山村 芳幸**
 取締役(非常勤) **細見 研介** 執行役員 **小谷 信之**
 執行役員 **大塚 剛**

(注) *社外取締役 **社外監査役

子会社・関連会社 ■連結子会社 ■非連結子会社 ■関連会社

卸売業 / ■(株)スハラ食品 ■(株)中部メイカン
 ■コンフェックスホールディングス(株)
投資事業 / ■ワイ&アイホールディングス(同)

小売業 / ■(株)宝来商店
物流管理・運送業 / ■新日本流通サービス(株)
サービス業 / ■ISCビジネスサポート(株) ■(株)アイ・エム・シー

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 3月31日
 期末配当金 3月31日
 中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

**特別口座の
口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

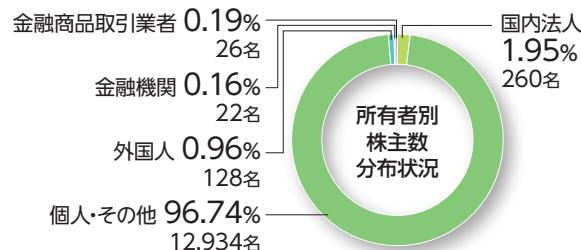
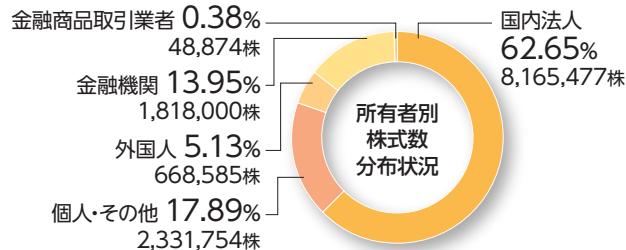
公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

* 公告掲載の当社ホームページアドレス
<https://www.itochu-shokuhin.com/>

単元株式数 100株

証券コード 2692

発行可能株式総数 40,000,000株
 発行済株式の総数 13,032,690株
 株主数 13,370名



大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
伊藤忠商事(株)	6,620,316	52.18
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (三井住友信託銀行再信託分・アサヒビール(株)退職給付信託口)	815,000	6.42
味の素(株)	339,129	2.67
アサヒビール(株)	296,500	2.34
みずほ信託銀行(株)退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)	249,300	1.96
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	207,100	1.63
伊藤忠食品 従業員持株会	128,900	1.02
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	128,400	1.01
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口5)	93,700	0.74
はごろもフーズ(株)	87,100	0.69

(注) 1 上記のほか、自己株式が345,337株あります。

2 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しております。

3 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(三井住友信託銀行再信託分・アサヒビール(株)退職給付信託口)の所有株式は、アサヒビール(株)が所有していた当社株式を三井住友信託銀行(株)に信託したものが、日本トラスティ・サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権はアサヒビール(株)に留保されております。

4 みずほ信託銀行(株)退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)の所有株式は、(株)みずほ銀行が所有していた当社株式をみずほ信託銀行(株)に信託したものが、資産管理サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権は(株)みずほ銀行に留保されております。

ご案内

住所変更、単元未満株式の
買取等のお申出先

証券会社に口座のある株主様 ▶ 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様 ▶ 特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金のお支払い」
について

配当金領収証にてお受取りの株主様 ▶ 「支払通知書」に替えて「配当金計算書」を同封いたしております。

口座振込を指定されている株主様 ▶ 配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。

「配当金計算書」について

※確定申告をなされる株主様は大切に保管してください。

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。

未払配当金の支払いのお申出先

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



FRANCIACORTA



Guido Berlucchi

BERLUCCHI

PIONEER IN FRANCIACORTA

<http://www.berlucchi.it>

お酒は20歳を過ぎてから。飲酒運転は法律で禁止されています。
妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与える
おそれがあります。お酒は楽しく適量で。

商品に関するお問い合わせ先／伊藤忠食品株式会社 0120-747-477

ISC 伊藤忠食品株式会社

- 大阪本社 〒540-8522 大阪市中央区城見2-2-22 電話 (06)6947-9811
- 東京本社 〒107-8450 東京都港区元赤坂1-2-7 電話 (03)5411-8511
- インターネットホームページURL <https://www.itochu-shokuhin.com/>

**UD
FONT**



本報告書は、環境保全のため、FSC®認証紙を使用して
植物油インクで印刷しています。